

「世界デジタルサミット2018」に参加してきました。

6月4日(月)午後、東京・大手町の日経ホールで開催された「**世界デジタルサミット2018**」に行ってきました。テーマは「**シンギュラリティへの挑戦**」でした。毎朝、目を通して**いる日本経済新聞**で見つけて、すぐ申し込みました。そして、見事当選しました。定員600名の会場は満席でした。主催は、**総務省**と**日本経済新聞社**でした。

まず、**野田聖子総務大臣**の挨拶があり、そのあと**NEC**、**富士通**、**NTTドコモの社長**の講演がありました。**AI**、**IoT**、**ビッグデータ**、**シンギュラリティ**の話以上に、今回衝撃的だったのは、**移動通信の大革命である5G**(第5世代高速通信、読みはファイブジー)の話でした。

世の中で、この5年間で最も変わったことは何ですか? おそらく**移動通信の進歩**ではないでしょうか。近年のスマホの発達は**4G**(第4世代高速通信・フォージー)のおかげです。2年後に実用化される**5G**は、これまでとは異次元の改革になることを今日知りました。5Gでは、**超高速・大容量、低遅延の無線通信**が可能になります。

実は、上記3人の社長の講演を聴きたくて申し込んだ「世界デジタルサミット2018」だったのですが、凄かったのは、その後の**パネルディスカッション**でした。GSMA事務局長、ノキア社長、クアルコム社長(ここまでは英語翻訳機必要)、そして、**玉川憲社長**の4人によるディスカッションは、**エキサイティングな近未来**を語っていました。

特に、**ソラコムの玉川憲社長**は超天才でした。日本IBMからAmazonに転職し、そこも2015年に退職して、数億円の資金で**IoT通信プラットフォーム**開発を展開してわずか3年、2017年にKDDIはそれを数百億円で買収したのです。玉川社長は、5Gで何か思いついたら、早く起業した方がいいですよ!と語っていました。

AI、IoTは目に見えにくいのですが、5Gは目に見える大改革として、確実に我々の生活を激変させます。日本では、**2020年の東京オリンピックでの使用**を契機に普及することでしょう。実は、来年から始まる国もあるようですし、インド、インドネシア、ベトナムなどは政府が5G導入をリードするそうです。

5Gって何、何がそんなに変わるの??という皆さん、私もこのサミットに行くまではそうでした。でも今回のサミットで、5Gの世界が少し見えました。やはり、東京での**異業種セミナー**への参加は貴重です。GSMA事務局長の**マツ・グランリド氏**は、キーワードは「**Intelligent Connection**」だと言っていました。これは、「**アクティブ・ラーニング**」にも言えることだと思いました(*^_^*)!!

